

人事院 交渉

現場の中核 上席の評価アップを

女性の登用拡大 旗振るだけでは務まらない 行(二)昇格 個別協議に「誠実対応」を再確認



人事院・山根専門官と交渉する、山口全 国税委員長(左)ら執行部。

全国税は10月26日、「国税職員の処遇改善等の要求」で人事院本院と交渉し、①「上席6級格付け」の実現、相談官ポストの増設、②女性職員の登用促進、③劣悪な行(二)職員の処遇改善を強く求め、人事院が的確な対応をとるよう求めました。給与制度班・山根専門官が対応。

山根専門官は、「級別定数改定作業のため、9月から各省庁ヒヤリングを開始、11月に作業を取りまとめ、組織・定員の改定とあわせて予算編成にその全体を示す」「職務・職責変化の実情等に

「6級昇格の適齢期を迎える職員が多く、それも高原状態にある」としながらも「統括官との上下関係にあり、従来の考え方を変えられない」とする人事院に、「国税は、①6級到達率

は下降の一途をたどり、「定年退職までに誰でも6級で」の願いも叶わない事態は広がる一方、②上席は第一線の中核的存在であり、その職責も局実査官と同等の6級評価は可能と迫りました。

「切り上げるべきものは切り上げが、上席6級は難しい」とする人事院に対し、「国税の職場の著しい士気の低下は重大問題であり、積極的な打開策を打ち出す責任がある」と通告しました。

また、各地域の相談室分室を廃止しているため、遠距離通勤を強いられる職員が生まれている実態を説明し、真の行政サービスの向上と職員の処遇改善に直結する「全署に複数の相談官設置」を提起しました。

「旗振り役になり各府省庁を促している」とする人事院に、国税職場のポスト在職率(男性が55%、女性は26%)を示し、「これが男女共同参画にふさわしい数字と言えるのか」と問い質しましたが、「任命権者の裁量に委ねられている」と回答を避けました。

登用目標を掲げようとする国税庁を督促するよう申し入れたのに対し、「下の級なら別だが、課長職で登用目標を掲げている省庁は聞いていない」と、「旗振り役」とは思えない消極的な対応を示しました。

「国税の職場に行(二)職員に配慮した配転を行うよう求める。」

■子育て職員の両立支援に万全をきすこと

女性部 子育て中の職員がたくさん点在していることは承知している。正直言って部下数制限は外せないが、個別協議でかなり救済している」と回答する人事院に対し、「来年3月定年を迎える高松局丸亀署の鎌田正春さん(用務員)は2189であり、本俸約26万円と極めて劣悪な状態にあり、いまだに3級昇格発令はない」と追及したの

「個別協議に持つてきたものは、誠実に対応させてもらっている」と回答しました。

最後に、07年働いふれ、「中高年と地方切捨て」「成績主義の強化」の配分と、時短の見送りに職場は失望感に覆われたことを指摘し、交渉を終わりました。

「中高音と地方切捨て」「成績主義の強化」の配分と、時短の見送りに職場は失望感に覆われたことを指摘し、交渉を終わりました。

「作業」では誇りもプライドもなく責任感も育たない」と苦悩する職員。マジで「ためえらやってみる」との怒りの声。怒りの一因はKSK操作の煩雑さ。KSKのシステムは各事務系統別々に設計され、エンター・キーとタブ・キーの操作方法も事務系統によってマチマチで簡単に慣れることは出来ないと言います。窓口相談業務の分離も否定されたままの現状で重ねて試行の中止を求めざるを得ません。

「北海道地連」 一元化試行で庁の一元化事務局の視察が行われています。彼らは何を視察しているのか? せめて、仕事とは何か、自分は何をしているのかと自問自答する一元化職員の心境をくみ取って欲しいものです。「自分たちのしているのは『作業』だ。『作業』では誇りもプライドもなく責任感も育たない」と苦悩する職員。マジで「ためえらやってみる」との怒りの声。怒りの一因はKSK操作の煩雑さ。KSKのシステムは各事務系統別々に設計され、エンター・キーとタブ・キーの操作方法も事務系統によってマチマチで簡単に慣れることは出来ないと言います。窓口相談業務の分離も否定されたままの現状で重ねて試行の中止を求めざるを得ません。

「北海道・札幌西分会」 先日、局徴収課による事務指導のため課長補佐以下3名が来署。大口滞納事件と重点管理事案に指定されているのか聞きたい。

「近畿・南大阪支部」 南大阪支部11署の今年度定員の増減を単純に集計すると11名の減です。11署中7署で減、4署は増減0。総務、徴収、所得の減員が目立ちます。年次休暇の部門別消化率で問題点を指摘されているのに年休、残業は改善されるのでしょうか。

「東海・愛知支部」 退庁日 口先だけの水曜日

・お先に帰る時間は7時過ぎ

・定時には 今日(日)は用事と 理由言い

・皆がいる だから私も つき合いで

「近畿・東大阪支部」 各統括官が税理士を中心に電話・事務所臨場を進められ、まるでe-Taxの営業マンのよう。申告期までに統括官は何件と割り当てられているのが実情

「東海・愛知支部」 退庁日 口先だけの水曜日

・お先に帰る時間は7時過ぎ

・定時には 今日(日)は用事と 理由言い

・皆がいる だから私も つき合いで

安心して子育ての できる職場環境を 女性部 交渉

全国税女性部は10月15日、国税庁と交渉を行いました。交渉では、①年次採用者の6級ポスト発令の抜本改善、②子育て中の職員に配慮した配転、③育児休業制度の一層の拡充を求めました。また、全国から参加した組合員は、内部事務一元化試行に従事している職員の生の声をぶつけ、昼休みの相談業務を現場に押しつけないこととあわせ、庁は現場の意見を十分聞くよう申し入れました。

総合勘案して登用している。申入れの数値目標設定は考えておらず、人事院の指針に沿った拡大計画を推進していく。

女性部 札幌局を例にあげれば、40歳以上の女性の管理職発令は27%(30名中8名)と、男の局も年次採用の女性職員の発令は30%を切っている。能力に差はなく、男性職員の半分以下であり、同等に引上げる目標

女性部 今回(異動で遠距離通勤を強いられ、あるいは子供の送り迎えができなくなったため、退職を余儀なくされたケースがある。あつてはならないことだ。

女性部 育児短時間勤務制度が実施される直

女性部 制度が整備され、請求があれば承認するなど適切に対処している。周知については、2回行ってきたところだ。

女性部 一元化では休暇も満足に取れないのが実態

女性部 庁は一元化試

女性部 育児短時間勤務

女性部 「女性職員の採用・登用拡大計画」を

女性部 子育て中の職

女性部 公務の要請は

女性部 育児短時間勤務の申請

女性部 一元化担当は

女性部 制度が整備され

女性部 一元化では休暇も満足

女性部 育児短時間勤務

詰将棋

【解答】

▲2一金△同玉▲2二歩△同玉▲3一角△2三五▲1三角成△同玉▲3三飛成△2三合▲2五桂まで11手詰。

【解説】

▲2一金に△2三五なら▲2二金以下の詰みとなる。▲2二歩から▲3一角が好手順で7手目▲1三角成が決め手。以下▲3三飛成でピッタリ。